

【彫刻家としてのキース・ヘリングを探る展覧会】

「Keith Haring: Arching Lines 人をつなぐアーチ」展が6月7日より開幕

中村キース・ヘリング美術館（山梨県北杜市）では、2025年6月7日（土）から2026年5月17日（日）まで、キース・ヘリングの没後35年を記念し、彫刻作品に焦点を当てる展覧会「Keith Haring: Arching Lines 人をつなぐアーチ」を開催いたします。



当館が新たに収蔵した全長5メートル超の彫刻《無題（アーチ状の黄色いフィギュア）》を中心に、当館所蔵の全13点の彫刻作品を一挙公開する本展は、「線のアート」で知られるヘリングがなぜ彫刻という表現手法に取り組んだのか、その経緯を辿る当館初の試みです。

1980年代のアメリカ美術を代表する存在であるヘリングは、人や犬といったモチーフを輪郭線のみで描く独自のスタイルで知られています。1979年、地元ペンシルベニア州からニューヨークに移住した直後から地下鉄構内の広告板にニューヨークで描く「サブウェイ・ドローイング」を開始。親しみやすさと強烈なインパクトを併せ持つ描線により、一躍国際

的な注目を集めるようになりました。

ヘリングは生涯を通じて「誰にでも届く視覚言語」の可能性を追求しました。彫刻はその到達点のひとつであり、線が自立し、永続的な存在感を持つ表現となりました。彼は1988年のインタビューで次のように語っています。

「絵画というものは、ある程度まで、依然として素材の幻想です。でも、イメージを切り出した瞬間、それは現実のものになります。もし崩落すれば、人を殺すかもしれません。そうした力は絵画にはありません。（中略）それは恒久的で、実在する感覚を持ち続けます。私が生きているよりも、はるかに長く存在し続けることでしょう。」

ヘリングは作品の永続性を「不死性（immortality）」と呼び、制作行為そのものを、自らの存在を未来へ残す手段として捉えていました。

1985年より取り組み始めた彫刻作品は、絵画表現とは異なる公共性と永続性に対する信念に基づいて制作されました。鋼鉄やアルミニウムを用いて立体化された線は、都市景観や自然の風景に溶け込みながら、社会とアート、また人と人をつなぐ立体表現となりました。

本展では、展示室内および屋外空間に彫刻作品を展示し、時間帯や天候によって変化する光の中で、生命力あふれる造形表現を体感していただけます。

なお、本展の会期中には同時開催として、中村キース・ヘリング美術館を設計した建築家・北川原温の美術館における初個展「北川原温 時間と空間の星座」を同時開催いたします。本展では北川原氏の創作のソースを「星」、建築を「星座」に見立て、その方法論や生成の過程を探ります。展覧会の詳細はこちら：<https://www.nakamura-haring.com/exhibition/13607/>



【北川原 温 (きたがわら・あつし) プロフィール】

建築家。1951年長野県千曲市生まれ。

東京藝術大学で建築を学び、東京・渋谷の映画館《ライズ》で世界の注目を集めたのち公・民間問わず国際的に多くの建築設計に携わる。東京藝術大学名誉教授、MET (旧北川原温建築都市研究所) フェロー。

本展のみどころ

1. 彫刻家としてのキース・ヘリングを探る

ヘリングは、1985 年、米国コネチカット州のリッピンコット鋳造所で初めて彫刻制作に挑みました。ギャラリストのトニー・シャフラジから「君のアルファベットを風景に置いてみたらどうだ」という提案を受け、自身の描いてきた人物や動物のモチーフを三次元化し、空間に拡張させる新たな表現を開拓します。

その後ドイツでも彫刻を制作し、1987 年には国際芸術祭「ミュンスター彫刻プロジェクト」へ出品。鋼鉄やアルミニウムによる彼の彫刻は、都市景観や自然風景の中に生命感を宿し、人々の体験の場を創出しました。

本展では、新たに収蔵した全長 5 メートルを超える大型作品《無題 (アーチ状の黄色いフィギュア)》をはじめ、全 13 点の彫刻作品を展示。ヘリングが彫刻を通して追求した公共性と永続性、そして生命へのまなざしを体感いただけます。

トニー・シャフラジ・ギャラリーとレオ・キャストリ・ギャラリーで同時開催された個展のポスター、1985 年



2. 蛍光塗料による作品の期間限定ライトアップ

1983 年に蛍光塗料を用いて制作されたペインティング《無題》および版画作品《無題》を、期間限定でブラックライトのもとでの特別展示を行います。当館では約 5 年ぶりとなる本作品のライトアップ展示は、会期中の毎週土曜日・日曜日および祝日の 13:00～14:00 に行います。80 年代ニューヨークのサイケデリックな空気を想起させる幻想的な光の中で、ヘリングの作品世界をご体感いただけます。

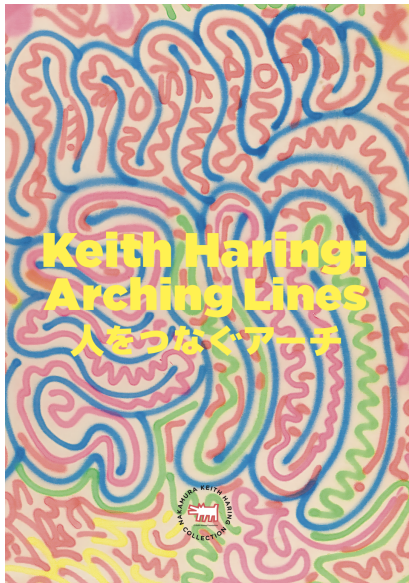


*写真は 2018 年のインスタレーションの様子です

ライトアップ期間：会期中毎週土日および祝日 13:00～14:00

*上記以外の開館時間中は通常のライティングのもとご鑑賞いただけます。

3. 会場限定ブックレットを販売



本展では、展示作品の理解をさらに深めていただくため、会場限定ブックレットを販売いたします。このブックレットには、本展に出品される約 80 点の作品および資料から厳選された 16 点の作品を掲載。ヘリング自身の言葉と書き下ろしの作品解説を通じて、彼の造形表現に込められた美意識や哲学に迫ります。

表紙には、1983 年に制作された蛍光塗料を用いた《無題》を使用。躍動的な線のエネルギーを感じさせるデザインが、ブックレット全体の世界観を象徴しています。ヘリングの作品に触れ、より深くその魅力を知るための一冊を、ぜひこの機会にお手に取ってご覧ください。

「Keith Haring: Arching Lines 人をつなぐアーチ」展ブックレット

ページ数：24 ページ

サイズ：A5

価格：500 円（税込）

販売期間：本展会期中（2025 年 6 月 7 日〔土〕－2026 年 5 月 17 日〔日〕）

販売場所：中村キース・ヘリング美術館 受付

開催概要

展覧会名	「Keith Haring: Arching Lines 人をつなぐアーチ」
会期	2025 年 6 月 7 日（土）－2026 年 5 月 17 日（日）
会場	中村キース・ヘリング美術館
展覧会ページ	https://www.nakamura-haring.com/exhibition/14550
主催	中村キース・ヘリング美術館
後援	米国大使館、山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会

中村キース・ヘリング美術館基本情報

住所	〒408-0044 山梨県北杜市小淵沢町 10249-7
お問い合わせ	https://www.nakamura-haring.com/contact

開館時間	9:00 - 17:00 (最終入館 16:30)
休館日	定期休館日なし ※臨時休館についてはウェブサイトをご確認ください。
観覧料	大人:1,500 円 / 16 歳以上の学生:800 円 / 障がい者手帳をお持ちの方:600 円 15 歳以下:無料 ※各種割引の適用には身分証明書のご提示が必要です。
観覧券購入場所	美術館受付のみで販売
ウェブサイト	https://www.nakamura-haring.com

プレスツアーのご案内

本展開催前日 (6 月 6 日 [金]) に、プレスツアーを開催します。

新宿駅付近よりシャトルバスで小淵沢までご案内し、本展をメディアの皆様にご紹介いたします。当館キュレーターによる解説ツアーのほか、当館の設計を手がけた北川原温、館長を務める中村和男よりごあいさつを申し上げます。

ぜひ、ご参加賜りますよう、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

日程 (予定)

08:45 受付開始

09:00-12:30 新宿出発後、バス移動 (車内でお召し上がりいただけるお弁当をご用意いたします)

12:30- 展覧会ツアー (キュレーターがご案内します)

13:30- 北川原温、館長中村和男からのご挨拶、記念撮影 (予約制でご取材いただけます)

14:15- ホテルキーフォレスト北杜 (北川原温設計) ツアー (担当キュレーターがご案内します)

14:45- JR 小淵沢駅 (北川原温設計) ツアー (担当キュレーターがご案内します)

15:15 内覧会終了 (バスで新宿駅までお送りします)

18:15 新宿到着、解散

※バスをご利用にならない方は 12:30 までに中村キース・ヘリング美術館へご来館ください。

※バスに関する詳細なスケジュールおよび集合場所は、ご乗車の方へ別途ご案内いたします。



Press Release 2025.05.15

All Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

Courtesy of Nakamura Keith Haring Collection.

ご出欠確認票

「Keith Haring: Arching Lines 人をつなぐアーチ」 「北川原温 時間と空間の星座」 プレスツアーのご案内

日時： 6月6日（金）12:30～15:15（受付時間：12:00～12:30）

会場（取材先）：中村キース・ヘリング美術館（山梨県北杜市小淵沢町 10249-7）

※ご参加を希望される方は、<https://forms.gle/ckhXQfsaxWHqaYm87> より必要事項を

ご記入いただくか、本出欠確認票を pr_nkhc@keith.jp までお送りください。

※お手数ですが【5月27日（火）12:00】までにご返信をいただけますと幸いです。

☐ ご出席 ☐ ご欠席

氏名（ふりがな）：

媒体名：

貴社名：

部署名：

役職名：

電話番号：

携帯電話：

E-mail：

撮影機材：

ムービー（ 台） スチール（ 台） 三脚利用予定（有 ・ 無）

通信欄（館長中村和男、北川原温への個別インタビューのご要望など）：

< 本件に関する報道関係お問合せ先 >

担 当：田中、木虎

連絡先：pr_nkhc@keith.jp